

歯と口腔の健康づくり事業について
(関係団体等)



妊産婦期・乳幼児期

テーマ：乳歯むし歯の予防、口腔清掃の習慣づけ

- 妊産婦期から乳幼児期にわたる定期的な歯科健康診査体制の推進
- 母子保健や子育て支援に従事する者の資質の向上
- フッ化物応用等による効果的な歯科口腔保健対策の普及

- 乳幼児の発育段階を踏まえた歯と口腔の健康づくりに関する普及啓発の推進
- 子育て支援に従事する関係機関の連携づくりの推進

関係団体	事業名等	事業目的	平成26年度事業実績	
			内容	平成27年度事業計画
東北大学	妊娠中からの歯科保健モニター事業（協力事業）に関わる啓発活動	「妊娠中からの歯科保健モニター事業」の結果を解析し、得られた情報を広報して広く歯科保健啓発活動を行う。	平成21年度～25年度に実施された、妊娠届出時1,944名及び妊婦教室を受講した対象者337名、1歳6か月児健康診査受診者692名を含めた総計2,441名を対象に、将来の養育者として、もしくは現在のお子さんの養育者としての口腔保健に関する意識を質問紙調査した「妊娠中からの歯科保健モニター事業」の結果を分析し、第8回日本産科衛生学会学術集会（平成26年9月14～15日：大宮市）で1編、第4回東北口腔衛生学会学術集会（平成26年11月15日：福島市）で3編の研究発表を行い、事業で得られた歯科保健推進に関わる知見を発表し、広く情報発信を行った。	実施（継続）
	乳幼児の疾病予防・健康増進に関する疫学的研究・基礎的、臨床的研究	乳幼児期からの健康な口腔の育成を目指すとして、乳幼児の発育と口腔内疾病予防等に対して、疫学研究や基礎的、臨床的研究を行う。	乳幼児の疾病予防・健康増進に関する疫学的研究・基礎的、臨床的研究を実施し、有益な知見を得るとともに、その成果を発表・公表した。	実施（継続）
	母子の口腔保健を推進するIT活用システムの構築	子どもへの歯科健康診断の結果通知票に歯科健康診査の結果を収録したQRコードを添付し、歯科保健データを個人が管理する新しい健康管理体制を提案する。	(株) NTT docomoと共同で歯科健康診断の結果をQRコード化し、アンドロイド携帯端末にて読み取ることにより模式図で表示できるシステムを構築した。仙台市内の幼稚園歯科健診の結果をQRコードに変換して本システムで運用できるかの試用実験を行った。仙台市内幼稚園・保育園で歯科健康診査を実施し、歯科健康診査結果を印刷した母子健康手帳貼付用シールを12施設に配布し、さらにQRコードを読み取る歯科健康診査結果閲覧ソフトを試用した。	実施（調査継続）
	ライフコースを通じた要因の口腔の健康への関連の研究	口腔の健康状態は、幼少期から成人期、高齢期にかけての生活習慣や社会環境の影響を受けていると考えられ、これらを明らかにするための疫学研究を行う。	日本老年学的評価研究プロジェクトなどの全国の疫学データをを用いて、幼少期から成人期、高齢期にかけての要因の口腔の健康に関する分析を行う。成人期の口腔の健康と子どもの頃の環境要因の論文を出版した。	実施（継続）
宮城県歯科医師会	フッ化物洗口を利用したパブリアクケアの推進	乳幼児歯科健診後に定期的な管理を行える医療機関を登録していただき、その県のホームページに掲載した。また、宮城県のホームページにもリストを掲載してその情報を県民の方に広く提供する。	(1) 乳幼児歯科健診後に定期的な管理を行える医療機関を登録していただき、その医療機関リストを作成。また、宮城県のホームページにもリストを掲載してその情報を県民の方に広く提供する。 (2) 冊子「フッ化物応用マニュアル」の配布（平成17年宮城県歯科医師会作成）。	実施（継続）
	妊娠中からの歯科保健事業	県内在住の母親が妊娠時期から歯科保健についての正しい知識を持ち、子どもの歯科保健に対する適切な保健行動の実施に資することを目的とする。	平成27年度実施に向けての検討及び準備	実施予定（県委託事業）

関係団体	事業名等	事業目的	平成26年度事業要綱 内容	平成27年度事業計画
宮城県歯科医師会	歯つらつファミリーコンクール	家庭の中で歯の健康管理を通じた健康な生活づくりを推進し、「全身の健康は、歯の健康管理から」という予防意識を県民に広く啓発する。	平成25年度に3歳児歯科健診を受けたお子さんとそのご家族の方が対象で、県内各市町村広報紙等公募による応募と歯科医師会委員推薦の2つの方法で募集を行い、審査会にて各賞を決定後本人に通知。上位入賞者は第32回宮城県歯科保健大会(日程：11月1日(土))会場：宮城県歯科医師会館)で表彰を行った。また、親と子の部の宮城県知事賞・最優秀賞の方の中から1組が、厚生労働省及び日本歯科医師会主催の「平成26年度親と子のよい歯のコンクール」中央審査会に宮城県代表として参加した。 ◇応募数104組 ・親と子の部 宮城県知事賞・最優秀賞3組 ・ファミリーの部 宮城県知事賞・最優秀賞2組	実施(継続)
宮城県歯科医師会	宮城県歯科保健大会	広く県民と歯科保健事業関係者の参加を得て、口腔衛生思想の啓発、歯科保健運動推進のため努力されている個人、学校関係者を表彰し、宮城県における歯科保健事業のなご一層の充実、発展に寄与することを目的とする。	○表彰式 (宮城県歯つらつファミリーコンクール表彰、宮城県8020よい歯のコンクール表彰、宮城県歯・口の健康に関する漫画・ポスターコンクール表彰、宮城県歯・口の健康啓発漢語コンクール表彰、宮城県健康な口腔とよい歯の幼稚園・学校表彰、宮城県40年連続健康な口腔とよい歯の学校表彰、宮城県20年連続健康な口腔とよい歯の学校表彰、宮城県10年連続健康な口腔とよい歯の学校表彰、学校歯科保健功労表彰) ○特別講演 演題：「乳幼児・学童期における歯科的対応」 講師：東北大学大学院歯学研究科 小児発達歯科学分野 教授 福本 敏 氏 ・表彰式一参加者121名 ・特別講演一参加者117名 ・宮城県歯科保健大会誌1,600部作成	実施(継続) 平成27年11月14日(土)
	イベントでの啓発事業	イベント等においてかかりつき歯科医を持つことの必要性の普及啓発を図る。	(1) いい歯きらめき2014(サンスタワーファミリーミュージカル) (2) 子育て応援回すこやか2014 (3) 世界糖尿病デー-糖尿病啓発イベント (4) 第11回いい歯汗まつり ・歯科医師計16名を派遣し歯科健康相談及び歯周病チェック(ペリオスクリーン使用)を実施した。	実施(継続)
宮城県歯科衛生士会	乳幼児むし歯予防総合教室 【宮城県委託事業】	18020Jの達成を目指し、むし歯罹患率の高い地域において乳幼児及び保護者等を対象として、フッ化物塗布や正しい歯みがき方法の指導を行うことにより、健康管理の大切さや、むし歯予防に関する知識について普及、定着をはかる。	○乳幼児期からの歯と口腔の健康管理の必要性とその方法に関する講話・相談等 ・フッ化物塗布や正しい歯磨き方法の指導 ・保護者に対する乳幼児の歯と口腔に関する健康教育 ・口腔観察(RDテスト等の活用) ○子育てに関する情報交換 ○歯科保健指導を希望する保護者に対しての指導 ・2回(大郷町、蔵王町) 参加者52名	実施(継続)
宮城県保育協議会	歯の健康診査	歯みがき指導やフッ化物応用によるむし歯予防。正しい食事の取り方指導。これらを通して、歯と口腔の健康づくりに関する知識の普及啓発に努める。	会員施設34ヶ所において、年1回以上歯科健診を実施した。また、その結果を家庭に周知し、普及啓発活動につなげている。 ※フッ化物洗口導入支援事業(仙台市)に参画	実施(継続)

関係団体	事業名等	事業目的	平成26年度事業実績 内容	平成27年度事業計画
宮城県栄養士設置市 町村連絡協議会	妊産婦期・乳幼児期における 歯科保健の推進	乳歯、永久歯むし歯予防及び歯肉炎の 予防と口腔清掃の習慣づけを図る	<p>○乳幼児健診等での望ましい食生活の普及啓発及び、むし歯予防のための歯科保健指導（歯みがきの習慣づけ）の実施</p> <p>○おやこ食育教室等での望ましい食生活の普及啓発、かみかみメニューの普及啓発、歯の健康づくり（むし歯、歯肉炎予防）の大切さの普及啓発</p> <p>○その他、各市町村の実情に合わせた歯科保健指導の実施</p> <p>・仙台市を除く34市町村で実施</p>	実施予定 (仙台市を除く34市町村)
宮城県栄養士会	いい日いい汗栄養まつり 歯と口の健康づくり市民のつ どい	生涯にわたる歯と口腔の健康づくりの 必要性について啓発を行い、県民の健 康増進、疾病の予防及び生活の質の向 上に役立てる。	<p>○テーマ「おいしく食べて、元氣はつらつ！」～健康寿命を延そう～</p> <p>○口腔ケア相談（歯科医師、歯科衛生士）、栄養相談、各種展示 ・参加者550名</p> <p>○「早寝・早起き・朝ごはん！ 口と健康を守る食生活コーナー」にて、食の大切さを啓発した。 ○栄養相談 ・参加者620名/食生活コーナー194名</p>	実施（継続） 実施（継続）
大崎市食生活改善推 進員連絡協議会	おやこ食育教室（カミングお おさき） むし歯予防にむけた講話並び に寸劇	むし歯の罹患率低下とカミング30の 定着に向けて講習会を実施し、望まし い食習慣や歯みがきの習慣の定着が図 れるように啓発を行う。	<p>○講話：「むし歯の大切さと効用について」</p> <p>○歯みがきたえメニューによる調理実習と咀嚼体験</p> <p>・大崎市食改7分会において伝達講習会</p> <p>・おやこ食育教室「カミングおおさき」</p> <p>対象：幼児・学童と保護者 実施回数：10回/参加者248名</p> <p>○講話・寸劇：望ましい食習慣（間食）と歯磨き習慣について</p> <p>・対象：幼児と保護者 実施回数：2回/参加者94名</p> <p>○「健やか親子21国民運動8020の里賞（ロケット賞）奨励賞受賞」</p>	実施予定 実施予定

テーマ：永久歯むし歯と歯肉炎の予防

○生涯にわたり実践に生かせる歯科口腔保健活動の推進

○歯科口腔保健活動のための学校及び地域の連携の推進

関係団体	事業名等	事業目的	平成26年度事業実績	
			内容	平成27年度事業計画
東北大学	文部科学省学芸員免許更新研修 新研修（選択型）事業	文部科学省学芸員免許更新研修に 口腔保健をテーマにしたプログラムを 提供し、教員の資質向上を図る。	選択日12時間の口腔保健に関する研修プログラムを提示し、養護教諭・教諭の資質向上を図ると共に、学校歯科保健の推進を支援する。 ・参加者23名 ※平成21年度からの総計146名	実施（継続）
	東北大学復興アクション支援 事業「被災地における地域口 腔保健推進システムの運用と 口腔健康の動態の解析」	被災地の子どもたちの学校歯科保健の状況 を把握して、健康状態の悪化を防ぐた めの方策を実施し、地域の口腔保健の 取組を支援する。	被災地、特に亘理町内の小中学校の学校歯科健康診断の結果を基として実情を把握し、被災後の口腔保健 の悪化を防ぐ方策を企画・実施し、それを全国に向けて発信する。 ・「亘理町と国立大学法人東北大学大学院歯学研究科との口腔保健連携協力に関する協定書」を締結し、 亘理町6小学校児童1,815名、4中学校生徒993名、計2,812名の学校歯科健康診断のデータを集 約し、問題点を解析した。 ・学校歯科保健啓発推進策として、学校歯科保健啓発用ムービーⅡ（実習編）を制作し、宮城県下全小学 校461校、中学校245校に配布した。	実施（継続）
	東北大学サイエンスカフェで の口腔保健啓発活動	東北大学サイエンスカフェで口の中の サイエンスを楽しんでもらう、口腔保 健啓発活動を展開する。	平成26年6月20日、仙台メテオアーク1階で「歯からはじめる全身の健康」のタイトルで第105 回東北大学サイエンスカフェを開催し、本カフェの様子はYouTubeへ投稿され、閲覧可能である。 ・参加者100名 https://www.youtube.com/watch?v=d-cnuYKk8mg	実施（継続）
	東北大学出前授業講座	歯と口の最新の知見を解りやすく解説 する出前授業を実施し、口腔保健に向 かう心を涵養する。	仙台市教育委員会と東北大学が協定して出前授業を実施。歯学研究科からは「お口の中には不思議がいっぱ い」と題して出前授業を行う。 ・仙台市立遠見塚小学校、根白石中学校	実施（継続）
	美里町小中学校出前授業事業	歯と口の最新の知見を解りやすく解説 する出前授業を実施し、口腔保健に向 かう心を涵養する。	「美里町と国立大学法人東北大学大学院歯学研究科との口腔保健連携協力に関する協定書」を締結し、そ れに基づいて、計12回（美里町立南郷小学校、不動堂小学校、中降小学校、青生小学校、小牛田中学 校）出前授業を行った。	実施（継続）
	平成26年度サイエンス・ス クール「豊体み大学探検 2014」事業	歯科医療現場で行われている歯科医学 の技術に触れることを通じて、口腔保 健に向かう心を涵養する。	仙台市教育委員会と東北大学が協定を結び、仙台市内中学生を対象に、歯科医療の現場で使用されている 技術を体験し、診療時に行われる操作を実際に行ってみることを通じて、口の健康の大切さに気付かせ る。 ・参加者7名	実施（継続）
	学齢期の疾病予防・健康増進 に関する疫学的研究・基礎 的、臨床的研究	学齢期の健康な口腔の育成を目指し て、疫学研究や基礎的、臨床的研究を 行う。	学齢期の歯質予防・健康増進に関する疫学的研究・基礎的、臨床的研究を実施し、有益な知見を得るとと もにその成果を発表・公表した。	実施（継続）
	母子の口腔保健を推進する「 活用システムの構築（再掲）	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施（調査継続）

関係団体	事業名等	事業目的	平成26年度事業実績		平成27年度事業計画
			内容		
東北大学	ライフコースを通じた要因の口腔の健康への関連の研究(再掲)	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施(継続)	平成27年度事業計画
	フッ化物洗口を利用したパブリックケアの推進(再掲)	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施(継続)	平成27年度事業計画
	学校歯科医生涯研修制度基礎研修会	全ての学校歯科医が専門性を活かしながら教育者としての資質を備え、積極的に学校歯科保健活動に推進し、生涯的にわたってその資質の維持と向上を図り、幼児、児童生徒の歯・口腔の健康増進に貢献することを目的とする。	<p>○講演 I 「学校歯科保健の概念を把握する」</p> <p>○講演 II 「学校歯科保健における保健教育を理解する」</p> <p>○講演 III 「学校歯科保健における保健管理を理解する」</p> <p>○講演 IV 「学校歯科保健における組織活動を理解する」</p> <p>・2回開催</p> <p>受講者：石巻会場 27名 大河原会場 40名 計67名</p>	実施(継続)	平成27年度事業計画
宮城県歯科医師会	宮城県歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール	歯の衛生に関する正しい知識を普及するとともに、歯科疾患の予防と如歯の徹底を図り児童・生徒の健康保持増進に寄与する。	<p>○宮城県歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール審査</p> <p>応募数：小学生98点、中学生23点、特別支援学校1点</p> <p>入賞：最優秀5点、優秀5点、佳作57点</p> <p>※平成26年度歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール</p> <p>住 作：小学校低学年の部：仙台市立生田小学校3年 丹野藍里</p> <p>小学校高学年の部：石巻市立渡辺小学校6年 高橋乃々佳</p> <p>中学校の部：柴田町立船岡中学校3年 坂本葉来</p>	実施(継続)	平成27年度事業計画
	宮城県健康な口腔とよい歯の図画・ポスターコンクール	歯の衛生に関する正しい知識を普及するとともに、歯科疾患の予防と如歯の徹底を図り児童・生徒の健康保持増進に寄与する。	<p>○宮城県健康な口腔とよい歯の図画・ポスターコンクール審査</p> <p>応募数：小学生215点、中学生36点</p> <p>入賞：最優秀1点、優秀4点、佳作5点</p> <p>※平成26年度歯・口の健康啓発標語コンクール</p> <p>代表賞：仙台市立福室小学校6年 赤間香日</p>	実施(継続)	平成27年度事業計画
	宮城県健康な口腔とよい歯の幼稚園・学校表彰	「『生きる力』をはぐくむ学校での歯・口腔の健康づくり」の理念に基づき、学校教育目標の具現化を目指した活動を推進し、全国的に顕著とするに足る成果を上げた学校の表彰を行い、もって幼児、児童生徒の歯・口の健康づくりの目的達成を図ることにも、「食」などの基本的な生活習慣の形成や心の健康づくり等を目指した確かな健康観の育成に資することを目的とする。	<p>○宮城県健康な口腔とよい歯の幼稚園・学校表彰審査</p> <p>応募数：幼稚園1園、小学校80校、中学校5校、高等学校の部該当なし、特別支援学校6校</p> <p>特別賞：宮城教育大学附属幼稚園、気仙沼市立唐桑中学校</p> <p>最優秀：幼稚園の部該当なし、小学校の部1校、中学校の部該当なし、高等学校の部該当なし、</p> <p>優 秀：特別支援学校の部1校</p> <p>入 選：幼稚園の部該当なし、小学校の部2校、特別支援学校の部2校、特別支援学校の部2校、</p> <p>入 選：幼稚園の部該当なし、小学校の部77校、中学校の部2校、高等学校の部該当なし、特別支援学校の部2校</p>	実施(継続)	平成27年度事業計画
宮城県歯科医師会	学校に対する歯科保健・安全対策等情報の提供	県教育委員会等と連携を密にし、園・学校における歯科保健活動の更なる向上とその定着に向け、多面的な協力支援を行う。	(1) ホームページを利用した学校歯科保健情報の配信 (2) 歯・口の調査結果の分析と今後の課題作成	実施(継続)	平成27年度事業計画
	宮城県歯科保健大会(再掲)	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施(継続)	平成27年度事業計画

関係団体	事業名等	事業目的	平成26年度事業実績	
			内容	平成27年度事業計画
宮城県歯科医師会	イベントでの啓発事業（再掲）	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施（継続）
	医科との連携事業の構築及び推進	医科との連携事業の構築及び推進	○糖尿病講習会（歯周病と糖尿病の関連を啓発） ・参加者126名 ○DVD講習会「厚生労働省委託事業」 ・2回 参加者108名 ○口腔がん検診のための研修会（世界糖尿病予一イベントへの参加） ・参加者56名	実施（継続）
	歯とお口の健康教室 小・中学生体験歯みがき教室 【一部宮城県委託事業】	児童に対する歯科保健教育を専門のスタッフにより多面的な教材を用いて、「聞く、見る、触る、実行する」という体験学習を通して、口腔と全身の関わりについての理解を含め歯科保健教育の向上を図る。	（1）歯科医師による講話や、口腔保健センター内のパネル・展示物を利用して、口腔の役割、むし歯の原因と予防法、健康増進のための食生活などを学習する （2）咬合力測定器、位相差顕微鏡、CCDカメラ等のハイテク器材を利用して、自分の口の中を多方面から観察 （3）歯科衛生士による歯ブラシ指導 ・9回 参加者278名（仙台市立東二番丁小学校外8校）	実施（継続）
宮城県歯科衛生士会	教育教材 【宮城県委託事業】	児童に対する歯科保健教育が広く、そして確かに普及することを目的として、教員が子ども達に歯・口に関する情報を正確に伝えることのできるツールを作成する。	みやぎっ子の楽しく学ぶ「生き生きする口」をはぐくむ歯・口の健康づくり教育教材を500部作成し、宮城県内小学校・特別支援学校等へ配付 1. 歯と口の発育と機能の発達 2. むし歯の原因とその予防 3. 歯・口の清掃のポイント 4. 歯・口の健康づくりの実践 5. 総括・コーディネイト	実施予定
	学校歯科健診時における歯科保健指導	学校歯科健診時に歯科保健指導を行うことにより、全身の健康保持に大切なことであることを理解してもらおう。	○学校歯科検診時に、歯科保健指導を各クラス集団で行う。 ○学校歯科検診時に、歯科保健指導を個別で行う。 ○学校歯科検診時に、歯科保健指導を3～5名の小集団で行う。 ・小学校3校、高等学校2校（歯科衛生士各2名）	未定
宮城県養士設置市町村連絡協議会	学童期・思春期における歯科保健の推進（再掲）	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施予定 （仙台市を除く34市町村）
	いい日いい汗米糞まつり（再掲）	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施（継続）
宮城県養士会	歯と口の健康づくり市民のつどい（再掲）	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施（継続）
				実施（継続）

関係団体	事業名等	事業目的	平成26年度事業実績		平成27年度事業計画
			内	容	
大崎市食生活改善推進協議会	おやこ食育教室（カミングお おさき） （再掲）	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】		実施予定
	むし歯予防にむけた講話並び に寸劇 （再掲）		【再掲のため記載省略】		実施予定

テーマ：歯周疾患の予防と口腔清掃の徹底（青年期）、歯周疾患対策と歯の喪失予防の推進（壮年期）

- 成人を対象とした歯科健康診査の確保とその推進
- 地域保健と臨床保健との連携による支援体制づくり
- かかりつけ歯科医をもつことの推進
- 歯周疾患予防に効果的な方法の普及啓発の推進
- 成人の歯と口腔の実態把握及び歯と口腔の健康が維持できる体制の構築

関係団体	事業名等	事業目的	平成26年度事業実績	
			内容	平成27年度事業計画
東北大学	みやぎ県民大学「歯科治療の最先端～人工材料と再生歯科医療の進歩～」	県民の口腔の健康増進を目指して、口腔保健の啓発となる講義を実施する。	東北大学大学院歯学研究科講義室にて、口腔保健の啓発活動となる講演を系統立って実施し、最新の健康情報を解説する。 ・5回 参加者60名	実施（継続）
	東北大学サイエンスカフェでの口腔保健啓発活動（再掲）	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施（継続）
	がんプロフェッショナル養成事業「口腔がん検診特別研修」	大学院の講義を公開講座として、歯科の日常臨床でがんを早期発見できるための知識・技能・態度を身につけた人材を広く養成する。	東北大学大学院歯学研究科の技術トレーニングコースを歯科医療に関わる方々に公開し、がんに関わる多くの知識と診断技能を教授し、日常臨床で早期がんを発見するための知識・技能・態度を身につけた人材を広く養成する。 ・参加者18名 ※平成19年度からの総計315名（歯科医師）	実施（継続）
	がんプロフェッショナル養成事業「がん口腔ケア特別研修」	大学院の講義を公開講座として、がんの診療に参画し、口腔管理を行うための知識・技能・態度を身につけた人材を広く養成する。	東北大学大学院歯学研究科の技術トレーニングコースを歯科医療に関わる方々に公開し、がんに関わる多くの知識と診断技能を身につけた人材を広く養成する。 ・受講者9名（歯科衛生士、看護師等） ※平成21年度からの総計125名（歯科衛生士、看護師等）	実施（継続）
	歯科医学に基づく基礎的・臨床的研究の推進	歯科疾患を予防し、歯と口腔の健康と機能の保持増進をはかることを目的として、疫学研究や基礎的、臨床的研究を行う。	東北大学大学院歯学研究科の使命である歯科医学の推進を担い、基礎的、臨床的研究を推進すると共に、次の世代を先導する研究指導者を養成する。	実施（継続）
	成人歯科健康診査の支援と新しい口腔疾患と全身疾患の診断技術の開発	成人歯科健康診査を支援しながら、現場の問題点を抽出整理し、新しい口腔疾患と全身疾患の診断技術の開発を目的とした基礎的、臨床的研究を行う。	美里町と国立大学法人東北大学大学院歯学研究科との歯科保健連携協力に関する協定を締結し、地域での歯科保健推進計画に参画して成人歯科健康診査を支援すると共に、新しい口腔疾患と全身疾患の診断技術の開発を目的とした基礎的、臨床的研究を行う。 美里町にて、5月から6月にかけての10日間、住民健康診査に併設した成人歯科健康診査を歯科保健啓発種診のシステムで運営し、230名の参加を得、同時に基礎的、臨床的研究を実施した。	実施（継続）
	ライフワークスを通じた要因の口腔の健康への関連の研究（再掲）	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施（継続）

関係団体	事業名等	事業目的	平成26年度事業実績		平成27年度事業計画
			内容		
宮城県歯科医師会	事業所歯科健診	県内の事業所に勤務する従業員の方の心身面面にわたる健康保持増進に寄与すること	県内事業所からの依頼にて実施（事業所出向または登録医療機関に来院） 問診後、口腔内、歯肉の状況の検査、口腔の清掃状況、その他所見について診査を行い、その後簡単な口腔保健指導と健診結果を判定し本人及び事業所へ知らせる。 ・延25事業所 健診者1,589名	実施（継続）	平成27年度事業計画
	宮城県歯科保健大会（再掲）	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施（継続）	
	イベントでの啓発事業（再掲）	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施（継続）	
	医科との連携事業の構築及び推進（再掲）	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施（継続）	
宮城産業保健推進センター	産業保健推進事業	事業場の産業保健関係者（産業医、衛生管理者、産業看護職、人事労務担当者等）に対する研修、相談対応、情報提供を行う。	①「歯科、口腔と全身の健康について」をテーマとした研修の実施 6月19日（木）15時～17時 歯科医師2名を講師として実施。参加者30名。 ②「宮城県歯と口腔の健康づくり月間」のメールマガジンによる広報 10月27日発行 産業保健関係者・送付先595名 ③「宮城県歯と口腔の健康づくり月間」内開催の産業保健研修会におけるチラシ配布による広報 ・4回 参加者444名	実施（継続） ・「宮城県歯と口腔の健康づくり月間」のメールマガジンによる広報 ・宮城県歯と口腔の健康づくり月間に開催の産業保健研修会におけるチラシ配布による広報 ・宮城県歯と口腔の健康づくり月間のセンターホームページへの掲載	
宮城県栄養士会	いい日いい汁栄養まつり（再掲）	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施（継続）	
	歯と口の健康づくり市民のつどい（再掲）	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施（継続）	
大崎市食生活改善推進員連絡協議会	おやこ食育教室（カミングおおさき）（再掲）	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施予定	
	むし歯予防にむけた講話並びに立刷（再掲）	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施予定	

高齢期

テーマ：口腔機能の維持・回復、口腔衛生の維持

- 全市町村での歯周疾患検診の実施、受診率の向上
- 施設入所者や通所事業所利用者等の歯と口腔の健康管理の充実

- 介護や介護予防に従事する者への支援体制の構築
- 成人の歯と口腔の実態把握

関係団体	事業名等	事業目的	平成26年度事業実績	
			内容	平成27年度事業計画
東北大学	みやぎ県民大学「歯科治療の最先端～人工材料と再生歯科医療の進歩～」(再掲)	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施(継続)
	東北大学サイエンスカフェでの口腔保健啓発活動(再掲)	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施(継続)
	がんプロフェッショナル養成事業「口腔がん検診特別研修」(再掲)	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施(継続)
	がんプロフェッショナル養成事業「がん口腔ケア特別研修」(再掲)	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施(継続)
	歯科医学に基づく基礎的・臨床的研究の推進(再掲)	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施(継続)
	成人歯科健康診査の支援と新しい口腔疾患と全身疾患の診断技術の開発(再掲)	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施(継続)
	宮城県岩沼市における高齢者の口腔の健康と災害からの復興に関する解析	口腔の健康を含めた高齢者の健康を守るための介護計画立案に向けた調査の実施と解析を行う。	岩沼市の高齢者の健康状態の解析を行い、対策の提言を実施する。口腔の健康と災害による経済状況の変化の関連などを解析した。	岩沼市の高齢者の健康状態の解析を行い、対策の提言を実施する。
	ライフコースを通じた要因の口腔の健康への関連の研究(再掲)	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施(継続)

みやぎ訪問歯科・救急ステーションでの訪問診療の実施
診療実績

実施	訪問状況		内訳
	要人数	延訪問回数	
H26年4月	22	53	12
5月	20	21	8
6月	34	77	18
7月	39	90	22
8月	38	74	25
9月	52	91	33
10月	55	91	32
11月	39	77	25
12月	50	84	30
H27年1月	51	78	27
2月	48	78	31
3月	57	98	36
			21

○県内4医療圏対象の研修会（第三期地域医療再生基金補助事業）
 ①H27.1.31(土) 登米会場 参加者 44名
 ②H27.3.7(土) 仙台会場 参加者 29名
 ○地域包括ケア圏内対象の研修会（第三期地域医療再生基金補助事業）
 7回開催（4月、5月、7月、8月、10月、12月、3月） 参加者総数 237名
 ○みやぎ訪問歯科・救急ステーションの啓蒙
 ・第67回東北地区歯科医学会（H26.10.18）での発表
 ・ステーション便りの発行（5月、6月、9月、10月、12月）

みやぎ訪問歯科・救急ステーションでの訪問診療の実施
診療実績

○県内4医療圏対象の研修会（第三期地域医療再生基金補助事業）
 ①H27.1.31(土) 登米会場 参加者 44名
 ②H27.3.7(土) 仙台会場 参加者 29名
 ○地域包括ケア圏内対象の研修会（第三期地域医療再生基金補助事業）
 7回開催（4月、5月、7月、8月、10月、12月、3月） 参加者総数 237名
 ○みやぎ訪問歯科・救急ステーションの啓蒙
 ・第67回東北地区歯科医学会（H26.10.18）での発表
 ・ステーション便りの発行（5月、6月、9月、10月、12月）

後期高齢者医療広域連合歯科
健診事業
【後期高齢者医療広域連合委
託事業】

要介護者の口腔ケア支援者研
修事業
【宮城県委託事業】

8020よい歯のコンクール

宮城県歯科保健大会（再掲）

仙南医療圏において地域医療連携を推
進する一環として、関係職種との連絡
調整、口腔ケア及び摂食・嚥下障害患
者の情報を把握し地域における訪問歯
科診療の拠点として位置づける。
さらに、大規模災害時等緊急時の歯科
医療供給体制の調整、関係職種の研修
施設機能、及び地域住民への口腔ケア
啓蒙の拠点機能もあわせて充実する。
また、併せて県民や他職種に広く啓蒙
することを目的とした。

歯科健診を実施することにより、被保
険者の健康を保持・増進し、QOLの
向上を目指すことを目的とする。

要介護者等の口腔ケアの方法、口腔ケ
アの知識、技術向上を図る。

保健衛生思想の向上を目指し健やかに
食する歯科保健の大切さを広く県民に
啓蒙するとともに、8020運動推進
の一環としてコンクールを行う。

【再掲のため記載省略】

○みやぎ訪問歯科・救急ステーションでの訪問診療の実施
診療実績

○県内4医療圏対象の研修会（第三期地域医療再生基金補助事業）
 ①H27.1.31(土) 登米会場 参加者 44名
 ②H27.3.7(土) 仙台会場 参加者 29名
 ○地域包括ケア圏内対象の研修会（第三期地域医療再生基金補助事業）
 7回開催（4月、5月、7月、8月、10月、12月、3月） 参加者総数 237名
 ○みやぎ訪問歯科・救急ステーションの啓蒙
 ・第67回東北地区歯科医学会（H26.10.18）での発表
 ・ステーション便りの発行（5月、6月、9月、10月、12月）

・対象者：75歳
 ・歯科健診希望者は登録歯科医療機関において受診
 ・健診項目：口腔衛生状態、齲歯の状況、臼歯部での咬合、歯科疾患、歯式、嚥下機能の検査 等
 ・実績：登録医療機関 697 医療機関 実施医療機関 661 医療機関
 ・対象者：20,311名 受診者数：2,969名（14.62%）

第1回 「当院における在宅終末期がん患者などへ対する歯科的対応経験」
 「訪問歯科診療時の偶発症予防と救命処置」
 受講者：56名

第2回 「在宅利用者の歯科疾患を早つけるコツとは」
 「歯盆歯科医師会の訪問診療体制について」
 受講者：73名

第3回 「白石地区における多職種連携の試み〜いつまでも口から食べるために〜」
 受講者：91名
 ・計3回 受講者220名

平成26年6月4日現在満80歳以上で現在歯が20本以上（治療完了）で健康状態の良い方が対象
 で、県内各市町村広域連合等公募による応募と歯科医師会推薦の2つの方法で募集を行い、審査会にて
 各賞を決定後本人に通知。上位入賞者は第3回宮城県歯科保健大会（日程：11月1日(土) 会場：宮城
 県歯科医師会館）で表彰を行った。
 ◇応募数164名
 ・最優秀賞1名 ・特別賞1名
 ・8020推進財団理賞10名 ・優秀賞16名
 ・8020賞 131名

【再掲のため記載省略】

関係団体	事業名等	事業目的	平成26年度事業実績 内 容	平成27年度事業計画
宮城県歯科医師会	みやぎ訪問歯科相談室 (在宅歯科医療連携室整備事業) 【宮城県委託事業】	在宅歯科・口腔ケアの推進	<p>○在宅歯科・口腔ケア希望者の相談に際しては窓口</p> <p>○訪問歯科診療希望者への訪問歯科診療実施施設(歯医務機関)の紹介</p> <p>○在宅歯科診療機器(ポータブルレントゲン3台)の貸出及び管理</p> <p>○訪問歯科診療実施施設(歯医務機関)名簿の作成</p> <p>○在宅歯科口腔保健の普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 71件 (電話相談) ・紹介件数 39件 ・貸出件数 7件 ・登録医 127機関 ・研修会の開催(25名)、ホームページ作成、リーフレット作成 	実施(継続)
宮城県歯科衛生士会	医科との連携事業の構築及び 推進(再掲)	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施(継続)
宮城県歯科衛生士会	介護予防教室	地域の一般高齢者・特定高齢者を対象として、口腔機能の維持向上を図り、介護予防に役立てる。	<p>①介護予防教室(歯科講話・お口の体操)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9回 参加者104名 [歯科衛生士9名] <p>②元氣応援教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前アセスメント・個別サービス計画作成 ・歯科講話、歯科保健指導、事後アセスメント・個別サービスの評価と今後について ・33回 参加者178名 [歯科衛生士33名] <p>③研修会の講師</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4回 参加者不明 [歯科衛生士6名] 	実施(継続) 元氣応援教室は6回依頼あり。また、介護予防教室は3事業所から依頼あり。
宮城県老人福祉施設協議会	栄養・調理職員研修会	摂食・嚥下障害があっても、食べることでその人らしく生活が送れるよう、介護職・看護職と連携して支援することについて学ぶ。	<p>「口腔ケア・栄養管理」研修会の開催(1日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的:口腔ケアの概念や意義、目的を理解し、要介護高齢者の栄養状態、認知機能、ADL、QOLの改善、向上に努める。 ・対象:栄養士、調理職員、看護師、介護職員等 ・定員60名 <p>○総合病院の口腔外科、リハビリテーション科から講師を招き、嚥下障害概論、嚥下リハの実践などについて学び、所属施設におけるケアの向上に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月26日(水)10~16時/参加者55名(栄養士、調理職員、看護師、介護職員) 	「口腔ケア・栄養管理」研修会の開催(1日) ・目的:口腔ケアの概念や意義、目的を理解し、要介護高齢者の栄養状態、認知機能、ADL、QOLの改善、向上に努める。 ・対象:栄養士、調理職員、看護師、介護職員等 ・定員60名

障がい児(者)

○障がい児(者)の歯と口腔の健康づくりのための地域支援機能の充実・連携の促進
 ○施設入所者の歯科医療機関による歯と口腔の健康管理の充実

関係団体	事業名等	事業目的	平成26年度事業実績 内容	平成27年度事業計画
東北大学 *石巻市、石巻歯科医師会との協働事業	障がい児(者)口腔保健地域支援ネットワーク再構築事業	障がいのある人が歯科健診や必要な歯科医療を地域で受けられるようにするためのネットワークを構築すること、地域障害者の歯科医療・歯科受診の状況を把握し情報を共有することともに、当事者や関連職種が障がい者歯科に関する知識とスキルの向上を図る。	○石巻市障害福祉サービス事業所への歯と口腔の保健活動状況に関する質問紙調査の実施 ・25事業所のうち24事業所から回答(回収率96%) ○石巻市障害福祉サービス事業所利用者の歯科健診・歯科保健指導実施 ・20事業所 400名 [歯科医師2名、歯科衛生士3~5名] ○石巻市障がい(児)者歯科に関する検討会開催 ・2回(関連多職種で調査結果の共有と課題検討) ○障がいのある方の口腔ケア講演会・歯科相談実施 ・1回 参加者40名	実施
宮城県歯科衛生士会	障害福祉サービス事業所における歯科検診及び歯科相談	障がい児(者)の歯科保健を効果的に推進し、生涯にわたる歯と口腔の健康づくりを目的とする 仙台市の就労支援センターでの歯科保健指導	「障がい児(者)・要介護者口腔保健地域支援ネットワーク再構築事業」 ○石巻市障害福祉サービス事業所利用者の歯科健診後の刷掃指導の実施 ○仙台市の就労支援センターで講話と歯科保健指導の実施 ・2事業所(回) 33名[歯科衛生士4名]	実施予定
宮城県歯科医師会	障がい児(者)の口腔ケア支援者研修事業 【宮城県委託事業】	障がい児(者)の口腔ケアの方法、口腔ケアに関する知識、技術向上を図る。	第1回：テーマ「被災地からみえた課題～障がい児(者) 歯科医療の現状と今後～」 <ハネルティスカッション> ・障がい児・者の歯科検診への歯科医師会としての取り組み ・重い障害があっても地域で安心して暮らせるために ・障がい児・者歯科診療向上への期待 ・被災地から見えた課題～障がい児(者) 歯科医療の現状と今後～ ・災害後の障害者歯科ニーズと宮城県の取り組み 受講者：43人 第2回：テーマ「～地域の歯科医院が障がい児(者)を受け入れるには～」 <活動報告>障がい者歯科医療連携システムの構築へ向けて～柴田地区における障がい者歯科検診より ～ <講 演> 青森県歯科医師会の障がい児者歯科支援ネットワークについて 受講者：50人 ・計2回 受講者93人	2回予定 1宮城県での課題とその解決方法」に関して多職種連携を意図した研修
	みやぎ訪問歯科相談室 (在宅歯科医療連携準備事業) 【宮城県委託事業】 (再掲)	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施(継続)

関係団体	事業名等	事業目的	平成26年度事業実績 内容	平成27年度事業計画
宮城県歯科医師会	障がい児(者)施設歯科健診・口腔ケア指導モデル事業【宮城県委託事業】	障がい児(者)における歯と口腔の健康状態の改善及び日常の口腔ケアの定着を図るため、実施の把握と歯科口腔保健指導や口腔ケアの実践に関するマニュアル作成を目的とする。	<p>「障害の種類及び特性について」「健診事業所にて」</p> <p>(1) 事前研修会の実施 (2) 事業検討会の実施 (事前検討会) ・ 歯科健診項目(診断基準)の調整・事業実施体制について ・ アンケート項目, 同意書・健診票・健診結果票の様式確認 ・ 大崎市所属歯科衛生士の協力体制について (実態把握及びデータ集計後) ・ 施設からのご高見・要望について ・ 担当歯科医師及びスタッフからの感想及びご意見について ・ 本年度における注意点及び改善点について (3) 歯科健康診査等の実施(受診者数:105人) (4) 歯科健康診査後の歯科保健指導の実施 (5) 実態把握及び健診結果に係る詳細分析に必要なデータ集計</p>	実施
宮城県手をつなぐ育成会	市町村手をつなぐ育成会(親の会)・保護者会への普及啓発事業	施設入所者や通所サービス利用者の健康管理の一環として、歯科医療機関と施設とが協力して、定期歯科健康診査や口腔ケアに積極的に取り組むよう努める。		知的障害者の幼児期から学齢期そして卒業後の社会生活まで、歯科口腔保健に課題解決に向けた方策の情報共有、チラシやホームページによる啓発を行う。
宮城県栄養士会	いい日いい汗栄養まつり(再掲) 歯と口の健康づくり市民のつどい(再掲)	【再掲のため記載省略】 【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施(継続) 実施(継続)

食育

○食育の視点を採り入れた歯と口腔の健康づくりの推進

関係団体	事業名等	事業目的	平成26年度事業実績	
			内容	平成27年度事業計画
宮城県米養士設置市 町村連絡協議会	全ライフステージにおける食 育の推進	正しい食習慣を確立させ、全身の健康 の保持増進を図る。	○適宜推進事業の実施 ○年間を通し、各市町村で適宜推進普及運動を実施（チラシ配付） ○食育推進事業の実施（年間を通じ食育推進事業の実施） ○重点推進事業の実施（肥満予防対策及び専門部会の開催） ・仙台市を除く34市町村で実施	仙台市を除く34市町村で実施
	いい日いい汗米養まつり (再掲)	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施（継続）
宮城県米養士会	歯と口の健康づくり市民のつ どい (再掲)	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施（継続）
	おやご食育教室（カミングお おさき） (再掲)	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施予定
大崎市食生活改善推 進員連絡協議会	むし歯予防にむけた講話並び に寸劇 (再掲)	【再掲のため記載省略】	【再掲のため記載省略】	実施予定